

令和元年度

専門学校盛岡カレッジオブビジネス

自己点検結果報告書

令和元年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館 専門学校盛岡カレッジオブビジネスの自己点検・評価結果を
公表いたします。

学校法人 龍澤学館
理事長 龍澤 正美

専門学校盛岡カレッジオブビジネス 令和元年度 自己点検表

1. 学校の教育目標
「社会で活躍できるホスピタリティ精神あふれる人材の育成」を教育理念とし、社会に有意な人材を輩出し業界への貢献を果たすとともに地域活性化に寄与する。
2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画
外国人旅行者数の増大によるインバウンドや東京オリンピックに向けた動きが活発となってきている状況下、サービス系の仕事に就く本校の各学科における人材育成は、ますますその果たす役割が高まってきている。この社会的要請に応えるために、学生に対し専門的知識や技術はもとより、社会人として保持すべき基礎学力やマナー、さらには、グローバル社会での活躍を目指すよう語学力習得を促す。
3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

(1) 教育理念・目標

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
課題	教育理念・育成人材像等の意識づけについて、AP、CP、DPの提示を行いながら、入学後の定期的周知の実施をすることができた。	
改善策	次年度からは「盛岡外語観光&ブライダル専門学校」へ校名変更することに伴い、改めて学校理念等の周知の必要性があるため、様々な手法を用いて広く提示していきたい。	

(2) 学校運営

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
課題	今年度は教育活動の情報開示として、全校全学科の授業シラバスの再編成とホームページ等での公開を行った。	
改善策	来年度から50分授業から90分授業へ運用制度が変更となるため、再度教育カリキュラム構築とシラバス編成を行った上で、情報開示を予定している。	

(3) 教育活動

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
課題	次年度に向け、成績評価の指標を改訂し、個別評価平均値・科目別評価平均値等を定め適正な運用を予定している。しかし、未だ教員確保やマネジメントの面では課題が残っている。	
改善策	学生アンケートの結果分析や定期的な講師との情報共有等を試み、教員指導力の向上と学習成果の確立を目指す。来年度からはMCLグループで統一した教育の質向上に向け、MCLスタンダードプログラム授業を開始予定である。	

(4) 学修成果

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	4
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3
課題	卒業生の社会的活躍について、今年度より卒業生への就業状況調査活動（はがき郵送）を開始したが、キャリア形成や教育活動へは未だ活かされていない状況である。	
改善策	引き続き、卒業後の就業状況調査活動を継続しつつ、同窓会や講演会開催等の企画や、卒業生と連携した取り組みについて検討していくこととする。	

(5) 学生支援

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
課題	学生の健康管理組織は未整備であり、学校としての学生対応は年に1度の健康実施に留まっているため、日頃の意識づけや緊急時体制整備等ができていない状況である。	
改善策	学校保健安全計画を定める他、担当教職員の配置や学生組織（保健委員会等）の設定の検討を試みることとする。	

(6) 教育環境

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	3
課題	防災に対する体制として、今年度は避難訓練を実施することができた。しかし、訓練実施が全校実施できなかった点や教職員防災体制に未だ検討の余地があり、対策が必要である。	
改善策	引き続き関係各署と連携を取りながら、定期的な防災訓練・避難訓練の実施を進めていくことを検討する。	

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
課題	修学支援新制度（高等教育無償化制度）に対応できるよう学納金の内訳等について、検討と変更を行った。	
改善策	学納金については、定期的に検証と検討を行い、法人本部と連携を図っていくこととする。	

(8) 財務

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
課題	法人本部で財務について適正に管理しており、財務情報についてはホームページで公開している。	
改善策	法人本部と今後も連携を図っていくこととする。	

(9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4
課題	教育現場における学生に対するコンプライアンス方針（各種ハラスメント等）はガイドラインを定めているが、業界や地域社会に対する個人情報取扱に関しては、ガイドラインの制定が一部に留まっている状況である。	
改善策	民間企業同様、学校組織においてもコンプライアンス遵守の重要性を認知しながら、外部研修や勉強会を通して、社会的課題やコンプライアンス等について理解を増やす機会を段階的に設けていく。	

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4
課題	今年度は学習成果まとめと地域課題に取り組むことを目的として、近隣市町村（滝沢市・雫石町）と連携した卒業研究に取り組み、高い評価をいただくことができた。	
改善策	今後も社会や地域のニーズに応えられる社会貢献・地域貢献活動に協力していくこととする。	

(11) 国際交流

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4
2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
課 題	今年度より多くの留学生が入学し、在籍管理や学習・生活指導等について複数名教職員で対応しているが、学修・生活指導に関しては行き届いていない部分がある。	
改善策	留学対応に関して研修へ積極的に参加し、他校の対応事例を参考にしながら、本部組織の担当部署とも連携を取り、適切な対応にあたっていくこととする。	

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

数か年に渡り、学校教育目標や重点目標・計画を掲げ、達成のために学校体制整備と教育活動に取組み、昨年度よりも多くの項目において高い評価結果を得ることができた。令和2（2020）年度からは新校名「盛岡外語観光&ブライダル専門学校」となるだけでなく、授業運用制度（90分授業）やMCLスタンダードプログラム授業の開始、修学支援新制度導入等の理由により、さらに多くの学生入学（留学生含む）が予想されるため、本校の専門能力を育成する教育カリキュラムや各種支援体制について、検討を重ねながら構築していく必要がある。

継続課題項目である、「コンプライアンス体制」「要件等を備えた教員確保・マネジメント」について、解決策の実施を始めており、手法や時期や成果を確認しながら取り組むこととしている。引き続き、課題意識に対する検討と分析を行いながら、本校の存在価値を高められるよう実施を進めていくこととする。

令和元年度

専門学校盛岡カレッジオブビジネス

学校関係者評価委員会結果報告書

令和2年3月

学校法人龍澤学館
理事長 龍澤 正美

令和元年度学校関係者評価 報告

学校法人龍澤学館 専門学校盛岡カレッジオブビジネスでは、本校規定に基づき、学校関係者評価委員会を実施致しました。以下に、その内容を報告致します。

今後は、各委員からの意見や指導等を真摯に受け止め、より良い教育、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力して参ります。

引き続き、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

1. 学校関係者評価委員

氏名	企業・団体名	部署・役職
中村 正樹	盛岡商店街協同組合	事務局長
高橋 学	株式会社北日本銀行	人事部長
坂本 淳	岩手県中小企業団体中央会	企画振興部長
新沼 翼	株式会社盛岡シティホテルズ ホテルロイヤル盛岡	
佐々木 七彩	株式会社北日本銀行 都南支店	
藤原 知子	保護者	
杉田 陽子	盛岡中央高等学校	総合コース教員
工藤 昌雄	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	校長
畠山 英之	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	校長代理
角津田 寿恵	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	事務局課長
中山 将孝	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	教務課長
工藤 恭人	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	教務主任

2. 委員会次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 開催趣旨説明
- (4) 令和元年度自己点検委員会評価結果について
- (5) 意見交換
- (6) その他

3. 議論内容

本校の教育理念・目標と令和元年度に定めた重点目標と計画について説明を行った後、「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえて作成した評価項目による自己点検・評価の結果に基づき、評価項目ごとに達成状況や取組み状況、改善策について順次、外部委員の皆様と議論を行った。

①教育理念・目標

学校の教育理念・目的・人材育成像については、昨年度よりも周知理解を広めることができている。また、学校としてAP（アドミッションポリシー）、DP（ディプロマポリシー）、CP（カリキュラムポリシー）を設定し、より具体的な教育方針を掲げ、ホームページにも情報公開している旨説明した。また、次年度は校名が「盛岡外語観光&ブライダル専門学校」に変更になるため、その認知を図るため校外への発信にも注力していくことを報告し、外部委員からご理解いただいた。

②学校運営

「運営組織や意思決定機能について」「業界や地域社会等に対するコンプライアンスについて」は、引き続き課題が残っており、特にコンプライアンスについてのガイドラインの制定が十分ではない状況であるため、今後も継続してその整備に取り組む旨を説明した。昨年からの改善点としては、「情報公開」に関して昨年度まで未整備となっていた全学科のシラバス公開を本校ホームページにおいて完了した。コンプライアンスについて外部委員から質問をいただき、該当項目となる学生の個人情報管理についてのガイドライン整備に関し説明を行い、ご理解いただいた。

③教育活動

「人材育成目標の達成に向けた教員の確保」「関連分野における業界等との連携における教育の確保」「関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための教員の取組み」については、まだまだ検討及び改善の余地が残っている状況であることを説明した。

特に教員の確保については、学生アンケートを実施した上で、定期的に講師との情報共有を行い、授業改善を図っている旨を説明した。併せて次年度以降、専門学校グループ共通カリキュラムの導入を予定していることを説明した。外部委員からは、共通カリキュラムの内容について助言をいただくことができた。

④学修成果

「卒業後のキャリア形成への効果の把握」の項目について、卒業生の社会的活躍の把握活動に関して、今年度から卒業生の就業状況を調査するはがきを郵送する等の状況把握の仕組みを作り実施したが、その活用方法については、まだ十分ではない状況である。今後はこの卒業生情報を活用し、同窓会や講演会開催などの卒業生と連携した企画を進めていくことを説明した。外部委員からは特に意見は出なかった。

⑤学生支援

「学生の健康管理を担う組織体制」「卒業生への支援体制」について、整備が十分になされておらず、改善の余地があることを説明。いずれの項目も個別対応にとどまっているため、今後は適切な健康管理を促す教職員や学生組織の設置も検討していく旨を説明した。外部委員からは、学生の健康管理に関して、メンタルヘルスについての質問があり、このことについては、担任及び教職員が連携してフォローを行っていることを説明した。

⑥教育環境

防災への対策として、今年度は消防署など関係各所と連携を取りながら避難訓練を実施した。訓練を通じて、学生のみならず教職員の対応においても改善が必要な項目があったため、今後は関係各所からのアドバイスをいただきながら、さらに高いレベルでの防災計画を策定するよう取り組む旨を説明した。外部委員からは特に意見は出なかった。

⑦学生の受け入れ募集

学納金については、妥当なものとなっているが、次年度より就学支援新制度も始まることから、今後も定期的な検証を行い適切に取り決めていくことを説明した。外部委員からは特に意見は出なかった。

⑧財務

法人本部で財務に関して適正に管理しており、ホームページで財務情報を公開していることを説明した。外部委員からは特に意見は出なかった。

⑨法令等の順守

「個人情報保護の対策」について、『②学校運営』同様に体制やガイドラインの制定が一部となっているため、コンプライアンスの件も含めて、教職員の研修や全体での研究を重ね段階的にガイドラインを制定していくことが必要である旨説明した。外部委員からは特に意見は出なかった。

⑩社会貢献・地域貢献

今年度は、各学科において卒業研究の一環として近隣市町村と連携した取り組みを積極的に行い、地域の方々及びメディアからも高い評価をいただいた旨を説明した。外部委員からは特に意見は出なかった。

⑪国際交流

留学生数が急ピッチで増加しており「留学生の生活指導」「国内外で評価される取り組み」についての対応が万全ではない状況となっている。生活指導については教職員が複数名で対応に当たっているが、その指導の徹底及び仕組み整備で不十分な部分が依然あるため、今後も継続して他校の対応事例を参考にしながら、本部組織の担当部署とも連携を図りながら適切な対応にあたっていくことを説明した。

国内外での取り組みについては、時期や方法や効果等、今後鋭意検討していくことを説明した。外部委員からは、多くの留学生が在籍していることについて、是非日本の文化を理解し、地元で活躍する人材が出ることを期待するというコメントをいただいた。

4. まとめ

自己点検の評価項目について、状況報告及び改善策の説明を行い、外部委員の方々からは概ね良い評価をいただくことができた。しかしながら、『②学校運営』『③教育活動』『④学修成果』『⑤学生支援』『⑥教育環境』『⑨法令等の順守』『⑪国際交流』の項目において、課題として挙げられ、助言をいただいた内容については、検証と具体的対策を講じ、計画的に改善できるよう、努めていくこととする。

そして、刻々と変容を遂げる本校の各分野において、活躍できる人材の育成を目指し、より充実した教育活動と高い学修成果を目指し、教育環境の整備に取り組んでいきたい。